

令和2年度 一般会計当初予算

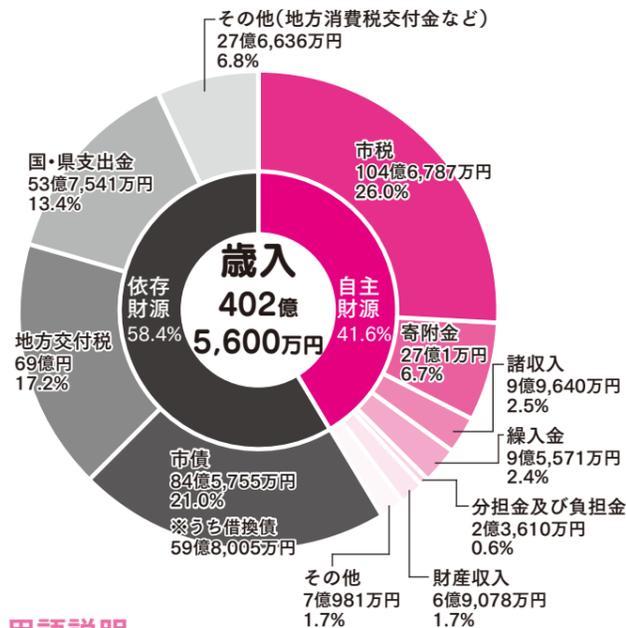
402億5,600万円 (前年度比1.2%減)

詳しくは、
市ホームページを
ご覧ください

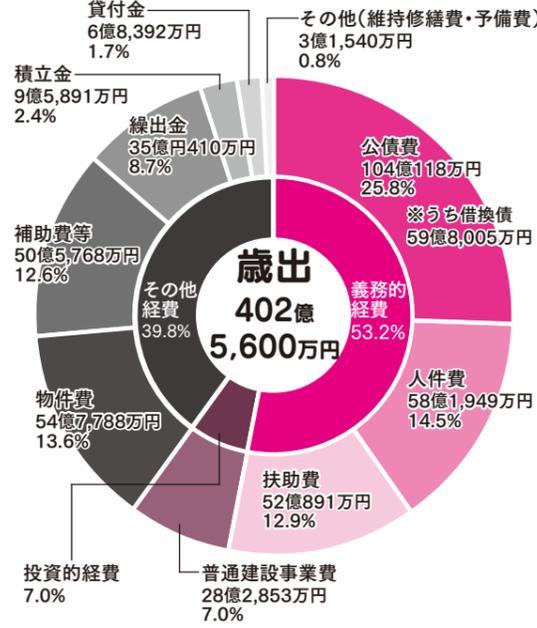


一般会計当初予算の総額は、402億5,600万円です。借換債を除く実質的な予算額は、令和元年度比21億6,490万円増の342億7,595万円です。直近10年間では5番目の規模となっています。なお、経済対策等国の補正予算による繰越事業5億27万円を合わせた執行ベースの予算規模は347億7,622万円となっています。

歳入の状況



歳出の状況 (性質別分類)



用語説明

自主財源…市が自ら徴収または収納できる財源
 依存財源…国または県などから収入される財源
 義務的経費…支出することが義務付けられている経費
 投資的経費…社会資本の整備に要する経費
 借換債…すでに発行した市債を現行の利率のものに借り換えるために、借入額と返済額を歳入歳出同額で予算計上

当初予算内訳

会計	予算額	前年比増減率
一般会計 (①+②)	402億5,600万円	△1.2%
借換債①	59億8,005万円	△30.7%
実質的な予算規模②	342億7,595万円	6.7%
特別会計	170億2,410万円	2.0%
国民健康保険	72億2,712万円	2.1%
後期高齢者医療	9億4,191万円	10.1%
介護保険事業	87億8,484万円	1.2%
土地取得	7,023万円	0.1%
総額	572億8,010万円	△0.3%

公共下水道事業特別会計は、令和2年度から公営企業会計(下水道事業会計)に移るため、特別会計全体の比較では除外しています。

一般会計当初予算の推移 (借換債を含む)

平成27年度	378億4,500万円
平成28年度	386億1,400万円
平成29年度	382億1,100万円
平成30年度	397億8,000万円
令和元年度	407億4,400万円
令和2年度	402億5,600万円

令和2年度 施政方針



3月2日、市議会定例会で市長が施政方針演説を行いました。その中から、当初予算額や重点施策などポイントを絞ってお知らせします。

施政方針全文はこちら



長年の取り組みが実を結ぶ
 昨年は、平成から令和となり新たな時代を迎えました。一年を振り返りますと、長年取り組んできたことが花を咲かせ、実を結んだ案件が幾つもありました。
 足掛け7年の取り組みが実り、東京2020オリンピック・パラリンピックの選手村の食堂で燕市の金属カトラリーが使用されることが決定しました。
 また、国道116号吉田バイパスについても、長年の粘り強い要望活動の結果、関係各位の多大なるご協力もあり、昨年末、ついに都市計画決定に至りました。
 この他にも、国道289号燕北バイパス朝日大橋の完成、大津分水に会場を移した燕さくらマラソン大会が大成、ゴールデンウィーク前にリニューアルオープンした産業史料館も順調に入館者数を増やしています。

また、弥彦村と共同で進めてきた水道事業広域化の取り組みが、日本水道協会の水道イノベーション賞を受賞する
 長年の取り組みが実を結ぶ
 昨年は、平成から令和となり新たな時代を迎えました。一年を振り返りますと、長年取り組んできたことが花を咲かせ、実を結んだ案件が幾つもありました。
 足掛け7年の取り組みが実り、東京2020オリンピック・パラリンピックの選手村の食堂で燕市の金属カトラリーが使用されることが決定しました。
 また、国道116号吉田バイパスについても、長年の粘り強い要望活動の結果、関係各位の多大なるご協力もあり、昨年末、ついに都市計画決定に至りました。
 この他にも、国道289号燕北バイパス朝日大橋の完成、大津分水に会場を移した燕さくらマラソン大会が大成、ゴールデンウィーク前にリニューアルオープンした産業史料館も順調に入館者数を増やしています。

令和2年度は第2次燕市総合計画の5年目を迎えます。計画の折り返し点を過ぎ、目標達成に向けて重点施策を着実に推進する大切な年となります。
 昨年、総合計画の中間評価を行いました。その結果「活動人口」や「交流・応援(燕)人口」は順調に増加しているものの、最も重要な「定住人口」については、我々が想定した以上に減少が進んでおり、特に子どもの産まれる数(出生数)の減少が著しい状況にあることが明らかになりました。
 施策の達成状況を表す個別指標でも、「定住人口増戦略」の6割で中間目標値を達成することができませんでした。このため、最終的な目標の達成に向けて、さらなる施策の拡充・強化を図るべく総合計画の見直しを行ったところがあります。

① 出生数の減少幅を抑制するための子育て支援策の拡充・強化

↓

働きながら子育てしやすいものづくりのまちを目指します

② 人生100年時代を見据えた健康づくり・重症化予防・介護予防の一体的推進

↓

人生100年時代の健康づくりを進めます

③ 若者や移住者がまちづくりに参加し始め、高度外国人材の雇用が進みつつあるという新しい風を捉えた地域活性化策の展開

↓

「天上新風」新しい風を捉えた地域の活性化を進めます

◎詳しくは4～7ページをご覧ください。

重点施策①

3つの重点施策について、事業内容を紹介します。

総合的できめ細かな子育て支援を行います

子育て情報を発信します

●子育てアプリ事業 60万円 **新規**

予防接種などのお知らせ発信や子どもの成長記録、妊婦の健康管理機能を備えたスマートフォン向けの「子育てアプリ」を導入します。

- 子どもの成長記録
- 妊婦の健康管理
- 子育て情報の発信



●すこやか家族応援情報ページ **新規**

(公式ウェブサイトリニューアル事業 1,485万円)

公式ウェブサイトリニューアルに併せて、すこやか家族応援情報ページのデザインも変更します。



イメージ

子育て相談窓口を一元化します

●子どもサポート係の新設 624万円 **新規**

妊娠から子育てに関する相談窓口を市役所「子育て支援課 子どもサポート係」に一元化し、健康・福祉部門と教育部門の連携による切れ目のない支援体制をつくります(21 ページ参照)。

●子育てコンシェルジュ育成事業 86万円 **新規**

子育て支援センターなどの職員を対象に研修を行い、修了者を「子育てコンシェルジュ」として配置することで相談体制の強化を図ります。



連携をしながらきめ細かな子育て支援を行います

地域社会が連携した子育て支援を進めます

育児の相互援助を進めます

拡充

●ファミリー・サポート・センター運営事業 399万円

児童の預かりなどを希望する保護者(依頼会員)と援助できる人(提供会員)との相互援助活動をつなぐ「ファミリー・サポート・センター」の利用料を所得に応じて減免します(16 ページ参照)。



経済的に困難な家庭に対して利用料を減免します

仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを応援します

新規

●つばめ子育て応援企業サポート事業 180万円

積極的に仕事と子育てが両立できるような職場環境づくりを進める企業を「つばめ子育て応援企業」に認定し、取り組みに応じて助成などを行います(14ページ参照)。



認定した企業と男性の育児休業取得者に奨励金を支給します

子育てを応援する機運を高めます

●つばめ子育て応援カード事業 98万円 **新規**

妊婦や中学生以下の子どもをもつ保護者に対して、協賛企業での割引や特典を受けることができる「つばめ子育て応援カード」を発行します(令和3年3月予定)。



働きながら子育てしやすいものづくりのまちを目指します

子育て家庭が必要とする支援を利用しやすく、安心して子どもを産み育てられる環境を整備します。結婚、妊娠・出産、子育ての問題を社会全体で共有し、連携して子育て支援に取り組む環境を整えます。

子どもの発達段階に応じた切れ目のない支援を行います



結婚

●新婚世帯向け住宅支援

●移住家族支援事業 3,500万円 **拡充**

U・Iターンなど転入者の住宅取得費助成について、新婚世帯への加算額を引き上げます(20 ページ参照)。

●定住家族支援事業 750万円

居住誘導区域内に住宅を新たに取得する人への住宅取得費助成について、新婚世帯に加算します(20 ページ参照)。

●転入新婚世帯向け家賃補助(移住・定住者向け補助制度 1,395万円)

U・Iターンなど転入する新婚世帯を対象とした家賃補助を行います(16 ページ参照)。

●男女の出会いサポート事業 98万円

婚活イベントを開催し、男女の出会いを支援します。

●マイキャリア×ライフデザインセミナー **新規**

(女性が輝くつばめプロジェクト推進事業 172万円)

市内企業に勤める若手社員を対象に、結婚や子育てなどの人生設計と、キャリアプランを考えてもらうセミナーを開催します。



出産

●不育症治療助成事業 64万円 **新規**

妊娠はするものの、流産や死産を繰り返す不育症の治療費助成を新たに行います。

●不妊治療助成事業 765万円 **拡充**

初診日から1年以内の一般不妊治療費助成を10割助成に拡充します。

●妊産婦医療費助成事業 3,354万円

妊産婦に係る医療費の全額を助成します。



乳幼児

●育児家庭応援事業 150万円 **新規**

乳幼児を持つ保護者に対して、おむつ用ごみ袋を配布します(16 ページ参照)。

●育児教室・育児相談会 216万円

子育てにおける保護者の不安や悩みごとに対し、相談会や教室を開催します。
 ハッピーベビークラブ・産まれたよ会 / 2カ月児育児相談会 / 離乳食相談会 / 親子のびすく教室 / 療育相談会



園児

●未満児保育拡充事業 450万円 **新規**

燕こども園に0歳児室を新設します。

●粟生津保育園大規模改修事業 2億9,430万円 **新規**

施設の全面的な改修にあわせて、未満児の受入人数を拡充します。

●園児通行ルート安全対策事業 370万円 **新規**

保育園児の散歩経路などに、防護柵の設置や外側線の引き直しを行います。



就学児

●なかまの会の児童クラブ化推進事業 159万円 **新規**

燕南小学校区のなかまの会の児童クラブ化を進めます。

●子どもの居場所づくり支援事業 23万円

子ども食堂など子どもの居場所を提供する団体に対して助成金を交付します。

●子ども医療費助成事業 2億2,820万円

高校卒業までの子どもに対する医療費助成を行います。

●病児・病後児保育運営事業 2,003万円

病気の児童や回復期にある児童を、小児科医院に併設した保育施設で預かります。

※「天上新風」=良寛さんの代表作「天上大風」
になぞらえた市長による表現。

重点施策③

「天上新風」新しい風を捉え
地域の活性化を図ります

市外から移住してきた人・大学生・高校生などが商店街の人たちと一緒にイベントを開催するなど若者の主体的な活動や、市内企業における高度外国人材の活用など燕に吹き始めた「新しい風」を捉え、それぞれの事業を体系的に展開して地域の活性化を推進します。

吹き込んできた「新しい風」

- 若い移住者やつばめ若者会議・燕ジョイ活動部の地域活動
- 産学協創スクエア事業により市内企業で就労体験をしたインターンシップ生 (主に大学生)



◀昨年12月に開催された若者と商店街の人たちの共催イベント

展開

若者などによるまちづくり活動を促進します

高校生のアイデアによる「まちあそび」

- つばめ若者会議事業 110万円 拡充
高校生がまちで試行錯誤しながら楽しく活動する「まちあそび」を通して、高校生と地域とのつながりや郷土への愛着を深めます。

連携による相乗効果

高校生や市内企業のインターンシップ生、移住者などによる地域活動を連携させて相乗効果を創出します。また、まちなかにぎわい創出懇談会などで検討する商店街活性化に向けた効果的なイベントなどを開催します。



商店街活性化に向けた効果的なイベントなどの開催

- 東京オリパラ大会での燕のオリジナルカトラリーの採用が決定
- テレビドラマでものづくり知名度が向上
- 産業史料館のリニューアルや産業観光を通じた新たな来燕者

展開

- 企業の高度外国人材活用拡大に伴う地域で暮らす外国人

展開

外国人材の暮らしをサポートします

暮らしと仕事の両面を支援

- 外国人向け生活ガイドブックの電子配信 新規
- 市役所窓口で多言語翻訳ツールを導入 23万円 新規
- 外国人材受入環境整備支援 74万円 新規
中小企業に対し、外国人材受入による職場環境整備費用の一部を補助します。

多文化共生の推進

- 外国人交流会の開催 50万円 新規
燕市で暮らす外国人同士の交流や、外国人と地域住民の皆さんが互いに理解を深めることを目的に交流会を開催します。

交流・応援(燕)人口から関係人口へつなげます

戦略的な情報発信

- つばめ東京オリンピックプロジェクト 283万円 拡充
東京2020オリンピック・パラリンピック大会でオリジナルカトラリーを活用します。
- シティプロモーション事業 1,000万円
市のイメージや知名度を高めるため、ものづくり産業、観光資源等をメディアを活用して市内外へ発信します。

東京での若者交流

- 東京つばめいと事業 107万円 拡充
首都圏在住の燕市出身者や燕市でのインターンシップ経験者など、燕市に関わる若者交流会を開催します。



◀昨年12月に東京で開催された若者交流イベント

来燕につながる深いつながりづくり

ふるさと燕応援事業(ふるさと納税)のお礼の品を通して来燕者の創出や、つばめサポートクラブの加入を促進します。

重点施策②

人生100年時代の健康づくりを進めます

健康診断・医療(国民健康保険)・介護・後期高齢に関するデータを相互に連携して、健康づくり・重症化予防・介護予防を一体的に行い、いつまでも健やかに過ごせる社会を実現するため、市民の皆さん一人ひとりの「人生100年時代に向けた健康づくり」を進めます。

高齢者の医療・介護データの連携により、新たな視点で健康課題の把握が可能となります



分析

データから確認できる健康課題

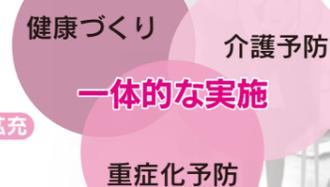


ハイリスク対象者の抽出

人生100年時代に向けた取り組みを進めます

健康づくり・重症化予防・介護予防を一体的に実施する個別的支援や地域の茶の間など「通いの場」への参加を促します。

- 人生100年時代の健康サポート事業 401万円 新規
高齢者の心身の課題に対し、保険事業に介護予防の視点を取り入れ、細やかな支援を実施します。
●骨折・骨粗しょう症重症化予防対策
●低栄養・口腔保健対策事業
●脳梗塞再発予防事業
- がん検診の見直し 346万円 新規
がん検診を高齢化に対応しつつ若年層も受けやすい体制や料金体系に見直し、制度を周知します。
- 健康づくりマイストーリー運動 476万円 拡充
元気がかやきポイントメニューに介護予防の項目を追加します。
- 住民主体による介護予防・日常生活支援事業 396万円 拡充
NPOやボランティア団体が行う訪問・通所サービスに、自身で交通手段を確保できない人の送迎支援などを補助対象として追加します。
- 燕市介護保険事業計画等策定事業 260万円
高齢者の健康福祉増進と、介護保険事業の保険給付を円滑に実施するため、次期計画をつくります。
- 残薬・ポリファーマシー対策事業 78万円
節薬バッグによる処方量の調整や服薬情報の通知により、服薬管理の推進と医療費の適正化を図ります。



商工業 活性化

企業の活動をお手伝いします。支援メニューをご活用ください！

申請書は商工振興課・観光振興課（市役所3階23～25番窓口）に用意してあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。今回紹介した制度以外にも、小売商業、企業立地に関する補助制度もあります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。お問い合わせください。



空き店舗をリノベーションしたい！

☎ 商工振興課 産業支援係 ☎ 0256・77・8231

空き店舗の改修費用を補助

補助対象経費の 1/3 以内（限度額 50 万円）

燕で創業したい！

☎ 商工振興課 産業支援係 ☎ 0256・77・8231

① 空き家などの賃借料を補助

賃借料の 1/3 以内、月上限 3 万円を 12 カ月以内で補助

② 創業のために受けた融資の利子を補給

負担利子 2% までを融資実行日から 3 年間補給（融資額 500 万円まで）

新商品をつくりたい、新技術を開発したい！

☎ 商工振興課 新産業推進係 ☎ 0256・77・8232

新商品・新技術の開発費を補助

補助対象経費の 1/2 以内（限度額 250 万円）

見本市に出展して顧客を獲得したい！

☎ 商工振興課 新産業推進係 ☎ 0256・77・8232

① 国内見本市出展者に小間料を補助

出展小間料の 1/2 以内（限度額 25 万円）

② 海外見本市出展者に小間料などを補助

補助対象経費の 1/2 以内（限度額 75 ～ 25 万円）

研修を受けてスキルアップしたい！

☎ 商工振興課 産業支援係 ☎ 0256・77・8231

研修・講習受講料を補助

○ 中小企業大学校三条校、中小企業基盤整備機構、燕三条地場産業振興センター、にいがた産業創造機構、三条テクノスクール、ポリテクセンター新潟が主催する研修

○ 産業環境管理協会、新潟県労働衛生医学協会が主催する「環境負荷低減対策」に係る講習

わが社の「ものづくり」を見学してもらおう！

☎ 観光振興課 観光企画係 ☎ 0256・77・8233

① パンプや案内用マイクの費用を補助

補助対象経費の 1/2 以内（限度額 20 万円）

② 見学者受入のための改修工事費用を補助

補助対象経費の 1/2 以内（限度額 100 万円）

新型コロナウイルス関連の支援事業は 17 ページ、または市ホームページをご覧ください。



基盤技術を維持・内製化したい！

☎ 商工振興課 産業支援係 ☎ 0256・77・8231

① 技術指導費補助（3 年間）

補助率 100%（1 回あたり上限 16,000 円）

② 機械装置費補助（初年度のみ）

補助対象経費の 1/2（限度額 200 万円）

※①+②で限度額 250 万円（初年度のみ）

環境負荷を抑制したい！

☎ 商工振興課 産業支援係 ☎ 0256・77・8231

① 資格取得・講習受講料・個別指導料を補助

補助対象経費の 1/3 ～ 1/2 以内

② 大気汚染物質の回収装置費補助

○ 新設の場合 1/2（限度額 250 万円）

○ 改修の場合 1/2（限度額 50 万円）

IoT システムで効率化を図りたい！

☎ 商工振興課 新産業推進係 ☎ 0256・77・8232

IoT システムの開発費を補助

補助対象経費の 1/2 以内（限度額 100 万円）

有利な融資を受けたい！

☎ 商工振興課 産業支援係 ☎ 0256・77・8231

① 市の制度融資を受ける際の信用保証料を助成

○ 300 万円以下…100%

○ 300 万円超 500 万円以下…75%

○ 500 万円超 2,000 万円以下…50%

※県の制度融資についても、一部助成を行っています。

② 設備資金調達に係る利子相当額を全額助成

生産性向上を目的とした設備のための融資への利子相当額の全額を助成。事業を引き継ぐ人が対象。

働きやすい職場にしたい！

☎ ① 商工振興課 新産業推進係 ☎ 0256・77・8232

☎ ② 商工振興課 産業支援係 ☎ 0256・77・8231

① 女性専用施設などの職場環境整備費用を補助

託児室、女性専用トイレ、女性専用更衣室の整備費用の一部を補助。補助対象経費の 1/3 以内（限度額 20 万円）。

② 外国人材を受け入れるための環境整備費用を補助

○ 工場・倉庫内の多言語化、生産・勤怠管理などに要する機械の 1/3 以内を補助（限度額 20 万円）

○ 翻訳機器の購入、社内規則やマニュアルの翻訳費用の 1/3 以内を補助（限度額 5 万円）

令和 2 年度の主な新規・拡充事業

3 つの重点施策の他に行う主な新規・拡充事業とその予算額を紹介します。

ものづくり産業の活性化

基盤技術人材育成支援事業

500 万円 **新規**

後継者不足などにより失われてしまう可能性のある基盤技術について、技術の承継または内製化を目指す事業者を支援します。

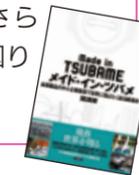


新たな産業育成・創業の支援

全国の若手経営者育成塾との交流事業

49 万円 **拡充**

「メイド・イン・ツバメ」を執筆した一橋大学名誉教授 関満博氏を仲介役に、全国の若手経営者と燕市の若手経営者との交流会を開催し、経済変化に対応できるチャレンジ精神旺盛な経営者のさらなる育成・輩出を図ります。



変化に対応する農業の振興

水田経営力強化推進事業

7,448 万円 **拡充**

米価変動の影響を受けやすい稲作に偏った経営体質を改善し、農業経営の安定化を図るため、枝豆やたまねぎの作付拡大に対する補助制度を新設し、園芸作物との複合営農の取り組み支援を強化します。



知・徳・体を育成する教育の推進

燕ロボット・プログラミング教室事業

138 万円 **拡充**

令和 2 年度からプログラミング教育が必修化されるため、「燕ロボット・プログラミング教室」の開催回数を増やすとともに、ロボットを各学校に貸し出すことで学習環境の充実を図ります。



◆ ロボット保有台数
令和元年度 16 台
→ 令和 2 年度 21 台

健全な心と体を支えるスポーツの推進

吉田野球場等ナイター照明改修事業

1 億 3,358 万円 **新規**

ふるさと納税の積立金などを活用し、ナイター照明を LED 化します。



心豊かな生涯学習・文化活動の充実

横山 操 **みさお** 生誕 100 周年記念展覧会事業

56 万円 **新規**

名誉市民 横山操氏の生誕 100 周年を記念した展覧会を開催します。市が所蔵する貴重な横山操氏の画業初期の作品を中心に展示します。



交通安全の推進

新規バス路線運行社会実験事業

679 万円 **新規**

燕地区においてコミュニティバス試験運行の社会実験を行います（10 月予定）。

◆ 社会実験予定運行ルート
燕駅～大曲～燕三条駅～燕労災病院～新生町



新たなまちづくりに向けた取り組み

まちづくりマスタープラン策定事業

810 万円 **新規**

国・県のインフラ整備や産業分野での新たなニーズの高まりを受け、未来を見据えてまちづくりの方向性を描き直すため、新たなまちづくりマスタープランの策定に着手します。



その他の事業など
詳しくは、
市ホームページを
ご覧ください。



ホームページ内の
PDF ファイルで
見ることができます。